

# スチール書架 (シェルビング) 組立説明書



※組み立てる前にこの組立説明書を必ずお読みください。組み立て後は組立説明書を大切に保管してください。



## ■許容耐荷重表 (棚板 1 枚あたり)

棚板奥行サイズ	耐荷重
214mm (奥行 260 タイプ)	40kg
254mm (奥行 300 タイプ)	60kg
314mm (奥行 360 タイプ)	50kg
434mm (奥行 480 タイプ)	60kg

寸法 (mm) :

高さ … 1620 / 1920 / 2270 / 2585

間口 … 940 (増連結 : 900)

奥行 … 260 / 300 / 360 / 480

※寸法は外寸となります。

## 設置上の警告



## 必ずお守りください

組み立てはスペースに余裕のある平らな場所を選定し、部材・部品を確実に結合してください。棚の落下や転倒による事故の原因となります。

- ・重量物なので組み立ては2人以上でおこなってください。
- ・金属製のため部材の切り口や棚板のコーナー部分等が鋭利となっている場合がありますので、軍手等をご使用されることをお勧めします。部材の取扱いには十分にご注意ください。

## ⚠ 注意

### 組み立て・設置について

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具等にキズがつかないように丁寧に取り扱いください。
- 必ず純正部品をお使いください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

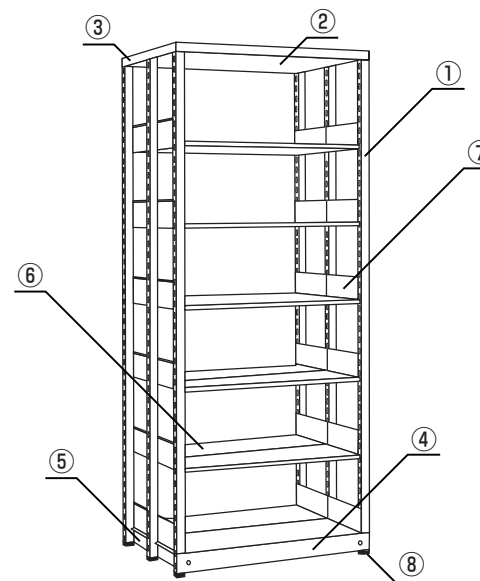
### 使用について

- 耐荷重を超えて使用しないでください。破損する恐れがあります。荷物は一カ所に偏らず平均的に置いてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて曲がる場合があります。
- 下段より上段のほうに重いものを置かないでください。重心が上になり不安定になります。

### お手入れ方法

- ボルトやナットのゆるみが発生した場合は、増し締めをおこなってください。
- 通常の汚れは固くしぼった布で拭き取ってください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用し、その後水分が残らないように十分に拭き取ってください。シンナー・アルコール類は使用しないでください。

## 各部の名称



番号	名 称	材 質	備 考
①	支柱 (アングル)	鋼板 (メラミンアルキド樹脂焼付塗装仕上げ)	40□角パイプ 孔 25mm ピッチ
②	天板	//	
③	天カバー (側幕板)	//	
④	ビーム	//	
⑤	プレス	//	
⑥	棚板	//	「■許容耐荷重表」を参照
⑦	棚受け	//	
⑧	柱座 (ベースキャップ)	ABS 樹脂	

※出荷品により上表と異なる場合があります。

## 使用方法およびオプション品

- 棚板に書籍等を整理して収納・保管します。
- 棚板は高さが 25mm ピッチで調整できます。
- 書籍等が後方に落下しないように、背板 (オプション品) をお勧めします。
- 書籍等の横倒れを防ぐために、ブックサポート (オプション品) をお勧めします。

## 販売元

有限会社 オーエス商会

TEL : 0263-88-5730

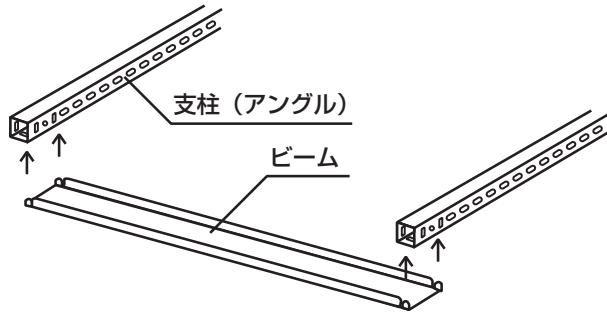
受付時間 : 10:00~17:00

## 製造元

株式会社井上金庫製作所

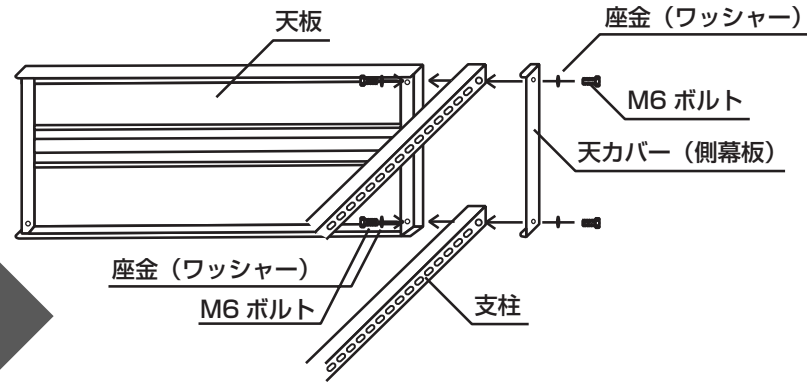
## ① ビームのはめ込み

- 支柱（アングル）の底部にある四角□穴（5mm×21mm）に、ビームをはめ込みます。



## ② 天板と天カバーの取り付け

- 支柱の上部に、天板および天カバー（側幕板）を M6 ボルト・座金（ワッシャー）を使用し取り付けます。
- 下図のように、ボルトと支柱で挟み込むように固定します。

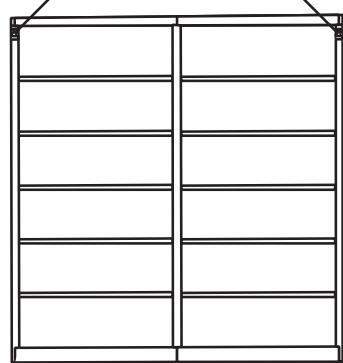


**!** 支柱にはタップ加工（穴の内側にネジを刻む加工）が施されていますので、ここでのボルト締めにはナットは必要ありません。

## ⑤ 警告ラベルの貼付け（完成！）

- 警告ラベルを両端の支柱上部に貼付けます。  
※単式は2枚（前面）・複式は4枚（前後面）
- 貼付けが終わりましたら、棚の設置場所へ移動させて完成です！

警告ラベル貼付け位置



複式の場合

## ④ 棚受けと棚板の取り付け

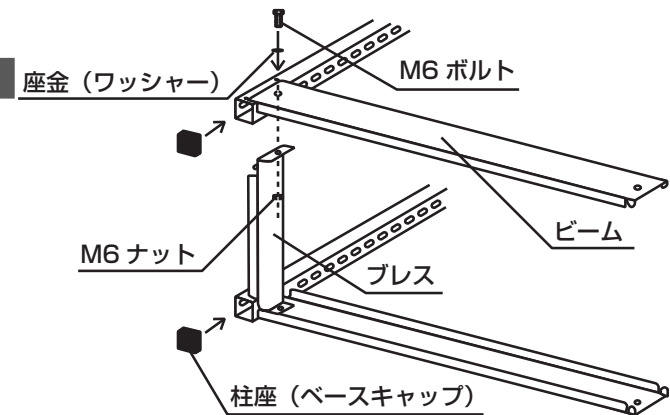
- 棚受けを支柱の長穴にはめ込み、その上に棚板を設置します。

**!** 棚受けの高さが異なると、棚板が変形したり、落下したりする危険性があります。

**!** 棚板は 25mm ピッチで可動します。好きな位置を決めてから取り付けてください。

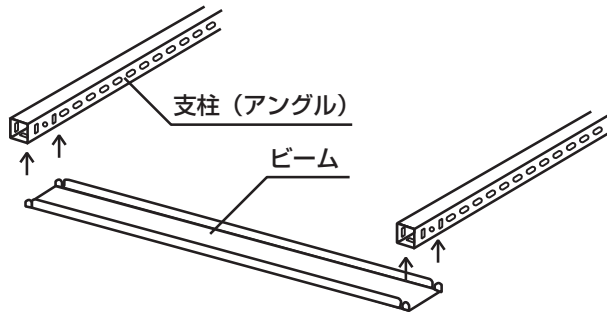
## ③ プレスと柱座を取り付け後、書架を起こす

- 支柱の底部にある四角□穴（5mm×10mm）に、プレスをはめ込みます。
- ビームとプレスのビス穴に M6 ボルト・座金（ワッシャー）・M6 ナットを使用し固定します。
- 各部を固定した後、柱座（ベースキャップ）をはめ込み、書架を起こします。



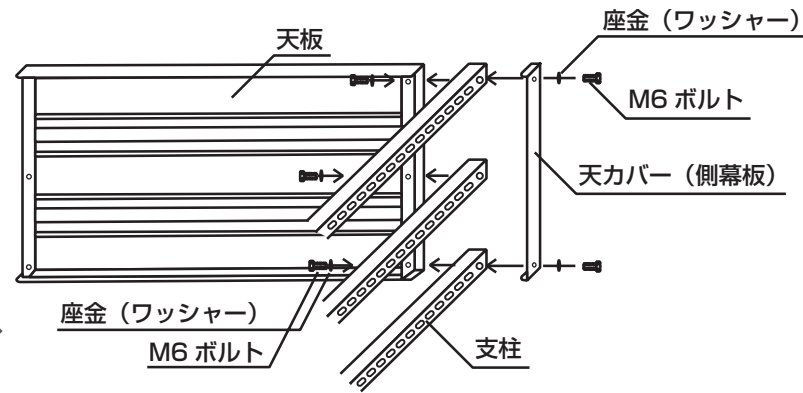
## ① ビームのはめ込み

- 支柱（アングル）の底部にある四角□穴（5mm×21mm）に、ビームをはめ込みます。



## ② 天板と天カバーの取り付け

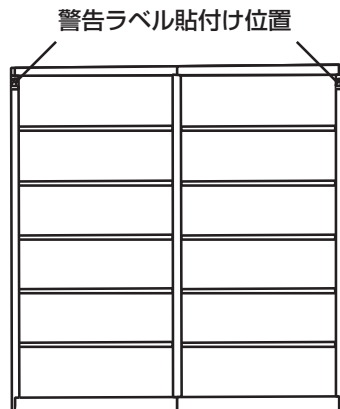
- 支柱の上部に、天板および天カバー（側幕板）を M6 ボルト・座金（ワッシャー）を使用し取り付けます。
- 下図のように、ボルトと支柱で挟み込むように固定します。



**!** 支柱にはタップ加工（穴の内側にネジを刻む加工）が施してありますので、ここでのボルト締めにはナットは必要ありません。  
ポイント

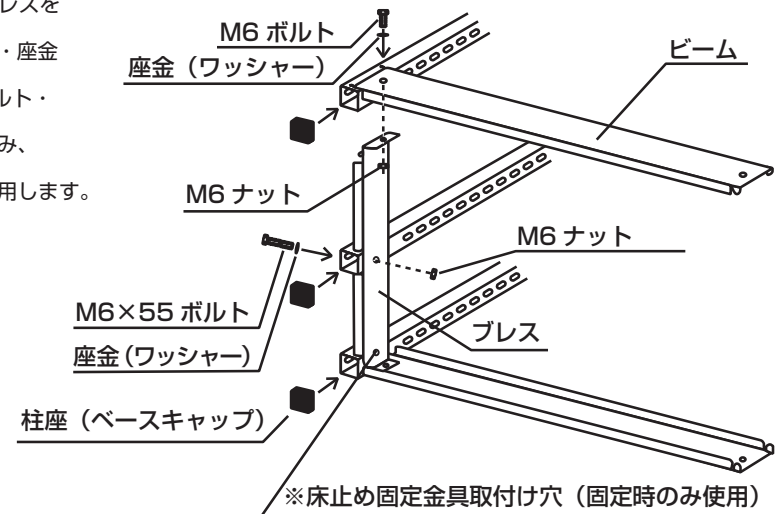
## ④ 棚受けと棚板の取り付け（完成！）

- 棚受けを支柱の長穴にはめ込み、その上に棚板を設置します。
- 警告ラベルを両端の支柱上部に 4 枚貼付けます。
- 貼付けが完了したら、棚の設置場所へ移動して完成です！



## ③ プレスと柱座を取り付け後、書架を起こす

- 支柱の底部にある四角□穴（5mm×10mm）に、プレスをはめ込みます。
- 両端は、ビームとプレスのビス穴に M6×12 ボルト・座金（ワッシャー）・ナットを使用して固定します。
- 中間の支柱は、プレス中央の穴と長めの M6×55 ボルト・座金・ナットを使用して固定します。
- 各部を固定した後、柱座（ベースキャップ）をはめ込み、書架を起こします。
- プレスの両端の穴は、床固定金具を取付ける時のみ使用します。



**!** 棚受けの高さが異なると、棚板が変形したり、落下したりする危険性があります。  
注意

**!** 棚板は 25mm ピッチで可動します。お好きな位置を決めてから取り付けてください。  
ポイント